

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	一宮市はとぼっぼ			
○保護者評価実施期間	2024年12月18日		～	2025年1月18日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数)	10
○従業者評価実施期間	2024年12月18日		～	2024年12月18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月15日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの障害特性や発達段階に合わせた支援を行っていること。	重症心身障がいのお子さんや医療的ケアが必要なお子さんも安心して過ごせる環境を整え、その子らしく過ごせる時間を大切にしている。遊びを通して興味関心を把握し、好きなこと、楽しいことの経験を増やし、やってみようと思える支援をしている。	保護者と日頃から伝え合い、情報共有や相談に丁寧に対応し、密な連携を図る。療育終了後、気づき、振り返りの時間があり、PDCAを意識した話し合い、職員間で共有している。研修会や勉強会など通じて職員のスキルアップを図る。また、OJTの活用、実際の療育を通して必要な知識やスキルを身に付けていく。
2	親子通園のため、一緒に過ごす中で、おこさんへのかかわり方や過ごし方を身に付けることができること。	保護者と日頃から子どもの体調面や様子などアセスメントを行う。子どもの表情や、動きを見つけ、保護者に伝え、共有できる。子どもの成長を認める時間を大切にしている。保育士が見本を見せたり、一緒にゆったり具体的に分かりやすく伝える。	子どもと保護者も安心して過ごせる環境を整える。日頃から話しを聞いたり、話せる場を作る。また、親子で楽しめる活動を提供していく。保護者支援では、療育支援事業など勉強する場を提供し、参加を促していく。
3	保護者同士の交流ができること。	毎月1回、親子分離し、保護者主催の活動や「話してみよう」で情報交換など交流の時間を作り、保護者同士の関係作りを支援している。同窓会の開催をし、先輩の保護者の交流の機会も支援している。	保護者の方が将来について不安だという声がある。保護者が何に不安なのか、聞き取りをし、何を求めているか把握する。大きくなった保護者と交流できる機会ができるよう検討していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ホームページ・SNS等の発信ができてない。	自己評価結果表は、掲載できているが、SNSでの情報発信は必要と考えているが、SNSに対して知識不足や人員がいない。	利用者には、計画などは配布し、掲示や口頭でお知らせしています。SNS運用については、知識や利用方法、情報倫理やリスク管理など学んでいく。
2	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がない。	お子さんの特性や状況から参加することは難しい所がある。	父母の会での行事やボランティアによる音楽会の開催しています。また、園庭開放に参加ができるよう検討していきたい。
3	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明できていない。	発生を想定した訓練は、実施し、周知に努めているが、訓練だけでは周知は難しい感じる。また、参加が出来てない利用者もいる。	掲示し可視化する。また、どの方法がより伝わるのか、職員で話し合い進めていく。